

1.技 術	4.1 造水シンポジウム・講演会
2.事 業 名	4.1.27 国内外への造水関連技術の普及促進活動(R3)
3.キーワード	造水技術、下水再利用、標準化、膜処理、UV
4.目 的	近年、世界的に水不足、水質の悪化などの水に関する問題が発生している。そこでこれらの課題に対して、これまでに本財団が蓄積してきた各種の造水技術に関する情報発信を行い、国内外に普及・促進するとともに、日本の企業の海外への水ビジネス展開に寄与することを目的としている。
5.内容、成果	<p>令和3年度は、下記の事業を実施した。</p> <p>(1) 英語版及び日本語版造水技術データベースの修正、追加を実施して、情報発信を行った。</p> <p>(2) 水に関する情報収集を行い、造水技術の普及促進を図った。</p> <p>(3) 第28回造水シンポジウムを Web 上で、令和4年2月14日(月)13:00から2月19日(土)17:00の期間に開催し、177名の登録者があり、延べ683名の方々に聴講いただき、成功裏に終了した。</p> <p>◇テーマ：下・排水再利用の現状と ISO/TC282「水の再利用」ガイドライン活用方法</p> <p>◇主 催：一般財団法人造水促進センター</p> <p>◇期 間：令和4年2月14日(月)13:00～2月21日(土) 17:00迄</p> <p>◇会 場：Web 上</p> <p>◇講 演：</p> <p>①「アメリカにおける下排水再利用の最新情報」(40分) ・テキサス州立大学 理工学部工学科 助教授 池端 慶祐</p> <p>②「リスク管理から捉えた下水再利用：環境予測微生物学のすすめ」(40分) ・東北大学環境水質工学研究室 水環境デザインコース 教授 佐野 大輔</p> <p>③「ISO/TC282(水の再利用)の概要—規格発行状況と活用方法—」(15分) ・(一財)造水促進センター 技術部長 中村 裕紀</p> <p>④「膜ろ過技術の動向と ISO/TC282(水の再利用)ガイドライン」(30分) ・一般社団法人 膜分離技術振興協会 豊原 大樹</p> <p>⑤「紫外線水処理技術の動向と ISO/TC282(水の再利用)ガイドライン」(30分) ・一般社団法人 日本紫外線水処理技術協会 杉本 隆仁</p> <p>⑥「イオン交換技術の動向と ISO/TC282(水の再利用)ガイドライン」(30分) ・AGC エンジニアリング株式会社 メンブレン事業部取締役 戸田 洋</p>
6.参 照	本事業は、(公財) JKA の補助事業として実施したものである。